

都市計画税の課税状況等の調（市町村個票 調査1-2）

市町村コード 014591

市町村名 美瑛町

注意:都道府県集計用として、下方印刷範囲外のセルにリンクを張っているため、表行列を変更しないこと。  
文字がセルに収まらず、印刷時に表示されなくても、セルの結合等はしないこと。

1. 都市計画事業にかかる予算・決算の状況

区分	年度	令和6年度（決算）		令和7年度（予算）	
		特別会計等 設置の有無	(千円)	特別会計等 設置の有無	(千円)
① 都市計画事業費等	街路		23,573		43,000
	公園		14,410		65,054
	下水道	○		○	
	その他				
	市街地開発事業				
	都市計画事業計 A		37,983		108,054
	土地区画整理事業 B				
	地方債償還額 C				
	合計 (A+B+C) D		37,983		108,054
② Dの財源内訳	地方債 E				
	支出金 F				
	負担金その他 G				
	都市計画税収入額 H		44,728		45,390
	一般財源等 D-(E+F+G+H+I) I		▲ 6,745		62,664
	合計 J		37,983		108,054
	充当割合 i (現年分のみ) $\frac{H}{H+I} \times 100 (\%)$ K		117.8%		42.0%
	充当割合 ii (超過分含む) $\frac{H+Z}{H+I} \times 100 (\%)$ L		117.8%		

(注1)「充当割合K」及び「充当割合L」欄の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して求めること。  
(注2)「充当割合L」欄の計算におけるZの数値は、「2. 令和4年度以前の超過額の処理状況」のZの数値を用いること。  
(注3)「特別会計等設置の有無」欄は、特別会計等(特別会計又は企業会計)を設置している場合は○、設置していない場合は空欄。  
(注4)東京都については、「都市計画交付金」として支出されたものについて、事業内容に応じ、各欄に計上すること。

2. 令和5年度以前の超過額の処理状況（複数回答可）

区分	金額(単位:千円)
① 当該年度に生じた超過額は、特別会計内における繰越により翌年度以降の都市計画事業又は土地区画整理事業に充当している。 回答 <input type="checkbox"/> 特会名称	
②-1 当該年度に生じた超過額は、翌年度以降の当該事業に充当するため、都市計画事業又は土地区画整理事業に用途を限定した基金に積み立てしている。 回答 <input checked="" type="checkbox"/> → 充当がある場合 当該基金の名称 公共施設等整備基金	0
②-2 当該年度に生じた超過額は、翌年度以降の都市計画事業又は土地区画整理事業に充当するため、用途が限定されていない基金に積み立てしている。 回答 <input type="checkbox"/> → 充当がある場合 当該基金の名称	
③ その他 回答 <input type="checkbox"/> → 内容について具体的に	
合計額 (Z)	0

3. 令和6年度の超過額の処理状況

① 2. と同様の方法により処理  
 ② 2. と異なる方法により処理  
 ③ その他  
 →②又は③の場合 具体的に

4. 令和6年度決算時点における超過額の残額

(単位:千円) 6,745

令和6年度 入湯税の使途状況等に関する調査（市町村調査表）

都道府県名	北海道	市町村名	美瑛町	全国地方公共団体コード	014591
様式1 入湯税充当状況に関する調(令和6年度分)		主な温泉名	白金温泉		

(単位：千円)

区分	事業名	事業費	当該事業の財源内訳					一般財源等		備考
			支出金		地方債	負担金 その他	入湯税	その他		
			国	都道府県						
環境衛生施設の整備	うち入湯税充当事業									
	計 A									
	小計(入湯税を充当していない分を含む) G									
鉱泉源の保護管理施設	うち入湯税充当事業	2,314					2,314			
	計 B	2,314					2,314			
	小計(入湯税を充当していない分を含む) H	2,314								
消防施設等の整備	うち入湯税充当事業									
	計 C									
	小計(入湯税を充当していない分を含む) I									
観光施設の整備	うち入湯税充当事業									
	計 D									
	小計(入湯税を充当していない分を含む) J									
観光振興 (観光施設の整備除く)	うち入湯税充当事業	63,000					16,300	46,700		
	計 E	63,000					16,300	46,700		
	小計(入湯税を充当していない分を含む) K	63,000								
	基金へ繰入れ	F								
合計	入湯税充当事業等 (A+B+C+D+E+F)	65,314					※ 18,614	46,700		
	入湯税充当可能事業 (G+H+I+J+K)	65,314								